

## 11 月度の市場動向について

### 長期投資家の皆さまへ

コロナ禍における主要国揃っての金融緩和で溢れたマネーは、金利が消失した債券市場ではリターンを得られず株式市場に流入する。こうした余剰マネーの金融市場の実状が世界の株価を一方向で押し上げた 11 月でした。月次ベースでは代表的な世界株価指数 MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス (ACWI・米ドル) が 12% 高と過去最大の上昇率を記録し、日米欧先進国でも軒並み記録的上昇が相次ぎました。上昇トレンドに勢いをつけたのが新型コロナへのワクチン開発進展で、マーケットはいち早くワクチン普及後のアフターコロナにおける景気急回復期待を一気に織り込んだ動きと言えましょう。今般の動きはコロナ禍で事業機会を伸ばしてきた IT ハイテク系銘柄の成長期待ではなく、経済活動全体の再開を想定したあらゆる産業のリバウンドが前提での、マーケット全体が買われる超楽観相場であり、それだけに上げ足も加速して早くなったでしょう。

市場全部が上がる買い安心相場は、反動による調整局面への転換可能性を高めます。世界中が未だコロナ禍の感染再拡大の最中で、欧米主要都市で活動制約が再開されていて、経済活動は明らかに回復基調が急激に損なわれてきています。つまり現状の実体経済と近い将来を楽観一辺倒で織り込むマーケットとの乖離はより顕著となっていて、感染状況の更なる深刻化やワクチン成果の遅れなどのマイナス要因が台頭すれば、マネーフローは一気に逆回転することも想定しておく必要があります。

市場の行き過ぎた楽観も悲観も決して長続きはしません。歴史的には揺り戻しも必然と言えましょうか。とは言え、マーケットの勢い (モメンタム) がどこまで続くのかも先んじては誰にもわからないもので、長期投資家にとっては、アフターコロナの先に構築されるであろうメガトレンドを見据えて、足元の相場のムードにとらわれない視線を保つことが大切な時です。「セゾン号」は目先の相場急騰にも焦らず、反動の調整相場でも決して慌てることなく、大局観に則った長期投資を続けていくのみです。

代表取締役会長 CEO 中野 晴啓

### 今月の市場動向

#### 世界の株式市場についての概況

世界の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、英国やオーストラリアの中央銀行が金融緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、世界的に新型コロナウイルスの感染者数が増加したものの、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、世界的に新型コロナウイルスの感染者数の増加傾向が継続したものの、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したほか、フランスやオーストラリアなどで新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための制限措置の緩和が発表され、リスク選好の姿勢が強まったことを受けて上昇しました。

#### 11 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) /1 バレル	45.34	+26.68%
NY 金先物 (中心限月) /1 トロイオンス	1780.9	-5.63%

米大統領選挙で、パリ協定への復帰を掲げるバイデン前副大統領の当選が確実となったことを受けて、気候変動を抑制するために、世界の主要国が協働して取り組むことへの期待が高まっています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 11 月度の市場動向について

## 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで堅調に推移しました。ISM 製造業景況指数や雇用統計の雇用者数の増加が市場予想を上回ったほか、失業率が大きく低下したことも支援材料となりました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染者数が増加したものの、大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて一段と上昇したものの、その後、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化するとの警戒が強まり下落しました。

終盤、バイデン次期大統領がイエレン前連邦準備制度理事会（FRB）議長を財務長官に指名する計画だと明らかになり、FRB や金融機関との円滑な連携で景気を下支えするとの期待が高まったほか、バイデン次期大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、政治の不透明感が後退したことを受けて S&P500 が過去最高値を更新するなど上昇しました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	29638.64	+11.84%
S&P500（米ドル）	3621.63	+10.75%
ナスダック総合指数（米ドル）	12198.74	+11.80%

2020年10月の小売売上高は、前月比で+0.3%と6ヵ月ぶりの低い伸びとなり、新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、追加の景気対策が打ち出されないなか、消費者が慎重な姿勢を強めつつあることが示されました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで上昇しました。英国の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて英国議会が12月2日までイングランド地方を都市封鎖（ロックダウン）すると決定したものの、英国政府が支援策を発表したほか、イングランド銀行（中央銀行）が量的緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、ドイツで制限措置の延長が決まったものの、米国政治の不透明感が後退したほか、フランス政府が都市封鎖を段階的に緩和すると発表したことを受けて上昇しました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	13291.16	+15.01%
仏 CAC 指数（ユーロ）	5518.55	+20.12%
英 FT100 指数（英ポンド）	6266.19	+12.35%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	10476.43	+9.28%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	129.14	+13.82%

2020年11月のドイツ欧州経済センター（ZEW）景気期待指数は、新型コロナウイルスの感染再拡大や英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感などを背景に今年4月以来の低水準となり景気の先行きに対する不透明感が強まっています。



セゾン投信

## 11 月度の市場動向について

### 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、菅首相が予算委員会で鉄道や航空会社に支援を行う姿勢を示したことを受けて上昇しました。トヨタ自動車や任天堂が今期の営業利益計画を上方修正したことも支援材料となりました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が、最終段階の治験で有望な結果を示したほか、7-9 月期の国内総生産（GDP）が市場予想を上回ったことを受けて一段と上昇しました。その後、国内の新型コロナウイルスの一日当たりの新規感染者数が過去最多となったことを受けて景気の先行きに対する不透明感が強まり、上昇幅を縮小しました。

終盤、国内で新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が燻っているものの、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことなどを受けて上昇しました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	26433.62	+15.04%
TOPIX[東証株価指数]	1754.92	+11.12%
MSCI Japan 指数（円）	1073.47	+12.19%

2020 年 7-9 月期国内総生産（GDP）は、外出自粛の反動や政府による支援策の効果で個人消費が増加したほか、中国や米国向けの自動車関連の輸出が増加し、前期比年率で+21.4%と大幅な伸びを記録しましたが、依然として 1-3 月期の水準を下回っています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

### 太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、オーストラリア準備銀行（中央銀行）が政策金利の引き下げと量的緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。ワクチンの早期実用化への期待が高まったことで需要が回復するとの見方が広がり、原油や鉄鉱石価格が上昇したこともオーストラリアの株式市場の支援材料となりました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したほか、オーストラリアの雇用統計で就業者数が市場予想に反して大幅に増加したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことなどを受けて上昇しました。オーストラリアの株式市場は、最も人口が多いニューサウスウェールズ州などで制限措置が緩和されると発表されたことも上昇要因となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1366.03	+14.39%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	6517.807	+9.96%
香港ハンセン指数（香港ドル）	26341.49	+9.27%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2805.95	+15.76%

2020 年 10 月の豪雇用統計は、ビクトリア州で新型コロナウイルスの感染拡大防止のための厳しい制限措置が緩和されたことなどを受けて、雇業者数が市場予想に反して増加し、労働市場の回復の兆しが示されました。

### 新興国株式

新興国の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで堅調に推移しました。中国の財新製造業購買担当者景気指数（PMI）のほか、韓国やインドの製造業 PMI が市場予想を上回ったことも支援材料となりました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。ロシアの株式市場は、ワクチンの早期実用化への期待が高まったことで需要が回復するとの見方が広がり、原油価格などが上昇したことも支援材料となりました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。中国や日本を含む 15 カ国が東アジア地域包括的経済連携（RCEP）に署名し、世界の国内総生産（GDP）の約 3 割を占める自由貿易圏が発足する見通しとなったことも上昇要因となりました。

終盤、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が継続するなか、バイデン次期米大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けて韓国の株式市場が過去最高値を更新するなど上昇しました。中国の株式市場は、バイデン政権に移行後も米国の対中政策に大きな変更はないとの見方があるほか、中国当局が品質低下や生産過多を警戒して電気自動車（EV）セクターの過剰投資の調査を行っていることが報じられたことを受けて力強さを欠く展開となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	1205.07	+9.21%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	108893.3	+15.90%
中国上海総合指数（中国元）	3391.755	+5.19%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2591.34	+14.30%
台湾加権指数（台湾ドル）	13722.89	+9.38%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1281.97	+20.19%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	44149.72	+11.45%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	57091.89	+10.46%

2020 年 10 月の中国の鉱工業生産は、政府による景気刺激策や堅調な輸出に支えられて前年同期比で 6.9%増と市場予想を上回る伸びを記録したほか、小売売上高も国慶節の連休期間中の消費が堅調であったことを受けて 3 ヶ月連続で前年を上回り、新型コロナウイルスの感染が抑制されるなかで、中国経済の回復が順調に進んでいることが示されました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

## 11 月度の市場動向について

### 世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。大規模な追加経済対策への期待が後退して国債の大量発行への懸念が和らいだほか、米国で新型コロナウイルスの感染者数が増加したことを受けて安全資産としての需要が高まり上昇しました。ユーロ圏の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。欧州で新型コロナウイルスの感染者数が増加したほか、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和に対する期待を背景に上昇しました。日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。国内で新型コロナウイルスの感染者数が増加したことを受けて景気の先行きへの不透明感が強まり上昇しました。

### 米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

序盤、大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が接戦を制する一方で上院の過半数を共和党が獲得してねじれ議会になるとの見方が広がり、大規模な追加経済対策が行われるとの観測が後退して国債の大量発行への懸念が和らいだことを受けて上昇しました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり下落しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり上昇しました。終盤、バイデン次期大統領がイエレン前連邦準備制度理事会（FRB）議長を財務長官に指名する計画だと明らかになり、FRB や金融機関との円滑な連携で景気を下支えすると期待が高まったほか、バイデン次期大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、政治の不透明感が後退したことを受けて下落しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	0.839%付近	-0.035%

### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の債券市場は、ドイツ国債やフランス国債が下落したものの、イタリア国債などが堅調となったことを受けて上昇しました（金利は低下）。

序盤、新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴う移動制限措置などの強化を受けて安全資産への需要が高まり上昇しました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり下落しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり上昇しました。終盤、株式市場が上昇するなどリスク選好の姿勢が強まったものの、比較的风险の高いイタリア国債などが上昇したほか、欧州中央銀行（ECB）理事会の議事要旨（10 月開催分）を受けて 12 月の理事会で追加金融緩和が決定されるとの期待が高まり上昇しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.571%付近	+0.056%

### 日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けて下落する局面はあったものの、国内でも感染者数が増加したことを受けて景気の先行きへの不透明感が強まり上昇しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.032%付近	-0.010%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 11 月度の市場動向について

### 世界の為替市場についての概況

為替市場では、新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けてリスク選好の姿勢が強まったほか、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだことを受けてドルが下落しました。ユーロは、欧州で新型コロナウイルスの感染者数が増加したほか、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和に対する期待が下落要因となったものの、対ドルや対円で上昇しました。

円は、世界的に新型コロナウイルスの感染者数が増加したことが上昇要因となったものの、新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けて下落しました。

### ドル・円

円はドルに対して上昇し、円高ドル安となりました。

序盤、株式市場が堅調に推移するなどリスク選好の姿勢が強まるなかで円が下落したものの、米大統領選挙でバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだことを受けてドルが大きく下落し、円高ドル安の展開となりました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて、円が一段と下落し円安ドル高の展開となりました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり、円が上昇したことを受けて円高ドル安の展開となりました。終盤、米国の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことを受けてドルが上昇し、円安ドル高の展開となりました。その後、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり、ドルと円は共に下落して横ばいの展開となりました。

### ユーロ・円

円はユーロに対して下落し、円安ユーロ高となりました。

序盤、株式市場が堅調に推移するなどリスク選好の姿勢が強まって円が下落し、円安ユーロ高の展開となりました。中盤にかけて、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁の発言を受けて ECB の追加金融緩和に対する期待が高まり、ユーロが軟調に推移したものの、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて、円が一段と下落し円安ユーロ高基調が継続しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり、円が上昇したことを受けて円高ユーロ安の展開となりました。終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり、円が下落したことで円安ユーロ高の展開となりました。

### 11 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	104.31	-0.33%（円高）
円／ユーロ	124.42	+2.04%（円安）
ユーロ／ドル	1.1927	+2.40%（ユーロ高）

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「セゾン資産形成の達人ファンド」  
運用概況 (2020 年 11 月 30 日現在)

## 今月のマーケット

【株式市場】新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化に期待が高まったほか米国で政治的な不透明感が後退して上昇

多くの国で新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために経済活動を制限する措置が続いているものの、効果的なワクチンの接種が早期に開始されることへの期待が高まったほか、米国の大統領選挙後に大きな混乱がなく安心感が広がったことを受けて、上昇しました。

【為替市場】安全資産としての需要が低下したドルが下落し、ユーロが上昇。円も軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安

米国で金融緩和が長期間継続するとの見方が維持されるなかで、新型コロナウイルスのワクチンが早期に実用化されることへの期待が高まったことや米国の政治的な混乱への警戒が後退したことを受けて混乱時の逃避先としての需要が低下したドルが下落し、ユーロが上昇しました。

## 今月の投資スタンス

今月は、積立などのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、FSSA アジア・フォーカス・ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月末から変わらず、月末時点で約 1.8%です。

## ファンドマネジャーからの一言

投資による利益は、将来の価格と購入した価格の差から得られるため、価格が上昇すると既に投資を行っている場合は利益を得ることができる一方で、これから投資を始める場合は、利益を獲得するためのハードルが高くなり、継続して投資を行っていく場合、価格の上昇は良いことばかりではないことも事実です。

もちろん理論的には、繰り返し下落しそうな銘柄を売却し、上昇しそうな銘柄を購入することにより、利益を獲得し続ける方法がありますが、短期的な価格の動きを予想することは難しく、現実的ではないと考えています。

当ファンドでは、株価は長期的には価値を反映していくため、価値に対して割安なものを購入し、価格が価値を反映するまで保有を続けることが長期的な資産形成を行うための最も有効な方法という認識のもとで、投資先ファンドを通じて割安な価格となっている銘柄を購入して保有し続けるために、流行を追いかけることなく、注目を集めていない地域に投資するファンドや人気がない分野の銘柄を調査して投資するファンドへも幅広く分散投資を行っています。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの長期的な投資を通じた資産形成のお役に立てるように努めてまいります。

運用部長 瀬下 哲雄

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

 販売用資料  
2020.12.3

### I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2020 年 11 月 30 日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	25,714円
純資産総額	1212.6億円

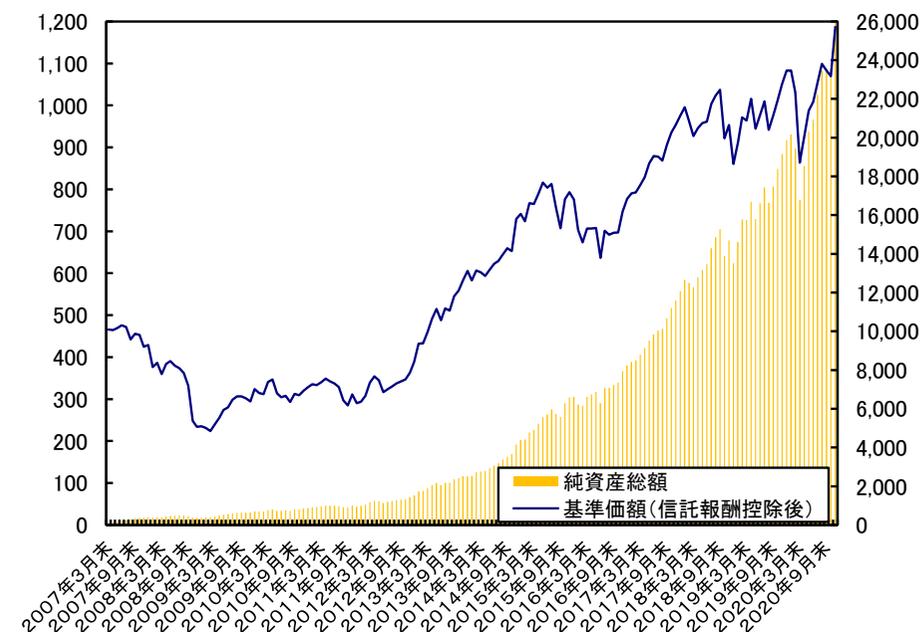
設定来騰落率	157.14%
過去1ヶ月間の騰落率	10.97%
過去6ヶ月間の騰落率	20.15%
過去1年間の騰落率	12.87%
過去3年間の騰落率	24.47%

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト (設定から 2020 年 11 月 30 日まで)

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	25,714	2020年11月30日

純資産総額(億円)      基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)      基準価額(円)



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11月度運用レポート

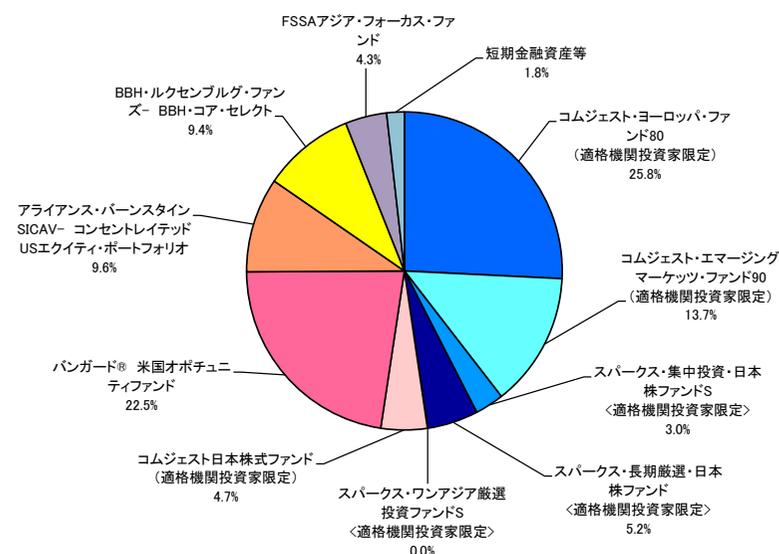
販売用資料  
2020.12.3

### Ⅱ：ファンド資産の状況（2020年11月30日現在）

#### 投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	25.8%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	13.7%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	3.0%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	5.2%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	0.0%
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	4.7%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	22.5%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.6%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	9.4%
FSSAアジア・フォーカス・ファンド	4.3%
短期金融資産等	1.8%
合計	100.0%

資産配分状況(2020年11月30日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。  
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドSは、10月8日から償還手続きを行っています。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.583%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.44%です。  
(実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。)

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11月度運用レポート

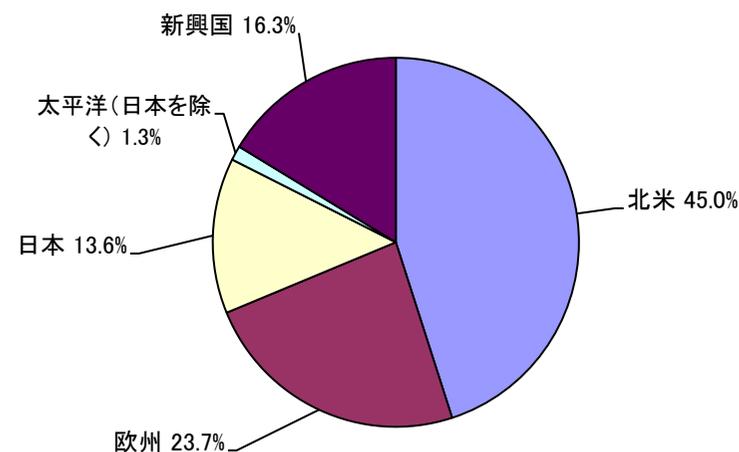
参考：国別投資比率、業種別投資比率（2020年10月30日現在）

セゾン資産形成の達人ファンドの国・地域別投資比率

### 国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country World Indexの時価 総額に基づく比率	差異
アメリカ	45.0%	58.1%	-13.1%
日本	13.6%	6.9%	6.7%
中国	6.2%	5.6%	0.6%
スイス	5.3%	2.7%	2.6%
フランス	4.8%	2.8%	2.1%
オランダ	3.6%	1.2%	2.5%
インド	3.2%	1.1%	2.1%
デンマーク	2.3%	0.7%	1.7%
韓国	2.2%	1.5%	0.7%
イギリス	1.5%	3.4%	-1.9%
スペイン	1.5%	0.6%	0.9%
ドイツ	1.4%	2.4%	-0.9%
台湾	1.2%	1.6%	-0.4%
南アフリカ	1.2%	0.5%	0.7%
ブラジル	1.2%	0.6%	0.6%
イタリア	1.1%	0.6%	0.5%
アイルランド	0.7%	0.2%	0.5%
ポルトガル	0.7%	0.0%	0.7%
香港	0.7%	0.9%	-0.2%
スウェーデン	0.7%	0.9%	-0.2%
インドネシア	0.5%	0.2%	0.3%
メキシコ	0.4%	0.2%	0.2%
オーストラリア	0.3%	1.8%	-1.5%
シンガポール	0.2%	0.3%	-0.1%
フィリピン	0.1%	0.1%	0.0%
ロシア	0.1%	0.3%	-0.2%
ニュージーランド	0.1%	0.1%	0.0%
トルコ	0.1%	0.0%	0.0%



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11月度運用レポート

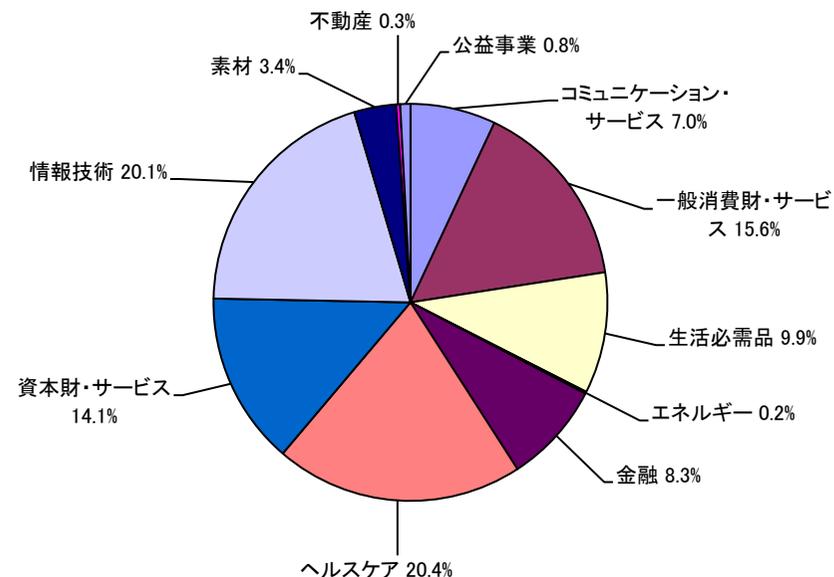
販売用資料  
2020.12.3

### 業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country World Indexの時価 総額に基づく比率	差異
コミュニケーション・サービス	7.0%	9.7%	-2.7%
一般消費財・サービス	15.6%	13.0%	2.5%
生活必需品	9.9%	7.8%	2.0%
エネルギー	0.2%	2.7%	-2.6%
金融	8.3%	12.7%	-4.5%
ヘルスケア	20.4%	12.3%	8.1%
資本財・サービス	14.1%	9.6%	4.4%
情報技術	20.1%	21.2%	-1.1%
素材	3.4%	4.8%	-1.4%
不動産	0.3%	2.7%	-2.4%
公益事業	0.8%	3.2%	-2.4%

### セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの業種は、世界産業分類基準（GICS）を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
 11 月度運用レポート

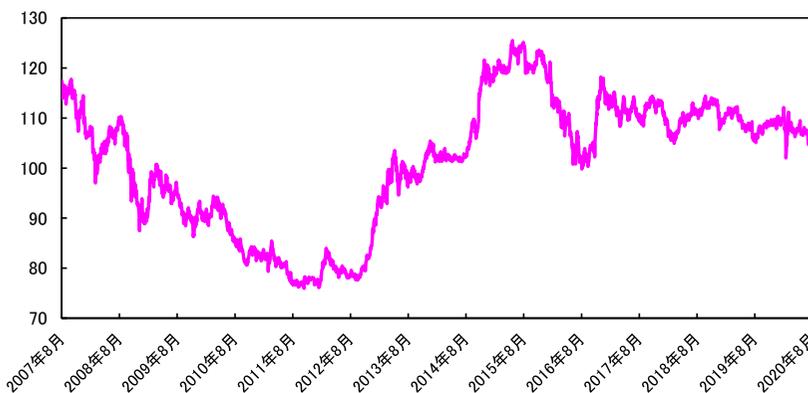
 販売用資料  
 2020.12.3

## Ⅲ：為替レートの推移

2007年8月15日から2020年11月30日までの為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年12月30日	120.61
2016年12月30日	116.49
2017年12月29日	113.00
2018年12月28日	111.00
2019年12月30日	109.56
2020年1月31日	109.06
2020年2月28日	109.43
2020年3月31日	108.83
2020年4月30日	106.87
2020年5月29日	107.53
2020年6月30日	107.74
2020年7月31日	104.60
2020年8月31日	105.36
2020年9月30日	105.80
2020年10月30日	104.60
2020年11月30日	103.89
変化率（組入れ）	-11.54%
変化率（11月度）	-0.68%



円／ドル

※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

#### IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値

コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	288.4
コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	189.8
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	508.4
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	574.8
コムジエスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	215.3
バンガード 米国オポチュニティファンド	419.6
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	185.4
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	132.3
FSSAアジア・フォーカス・ファンド	110.8

2020 年 10 月 30 日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値（11 月の動き）

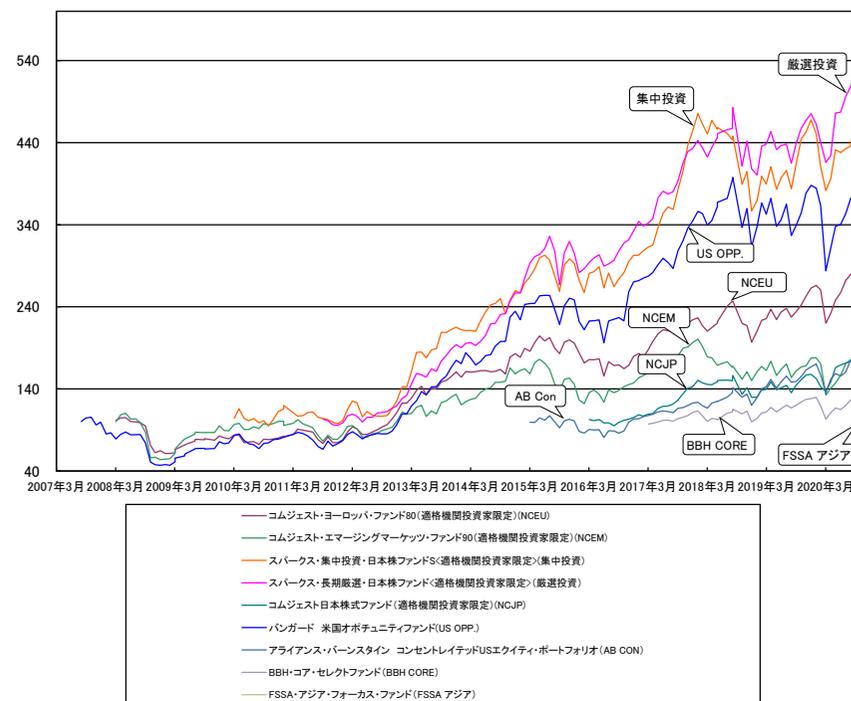
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	111.3
コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	109.7
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	107.1
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	108.6
コムジエスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	113.5
バンガード 米国オポチュニティファンド	114.7
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	110.5
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	109.2
FSSAアジア・フォーカス・ファンド	108.3

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

#### 組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80（適格機関投資家限定）[2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・ヨーロッパ・ファンド SA（適格機関投資家限定）] は 2008 年 3 月 12 日、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90（適格機関投資家限定）[2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・エマージングマーケット・ファンド SA（適格機関投資家限定）] は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは 2015 年 3 月 23 日、コムジエスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日、BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトは 2017 年 3 月 14 日、FSSA アジア・フォーカス・ファンドは 2020 年 9 月 15 日の値を 100 とし算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。[日付は全て当ファンドでの評価日付です]

## セゾン資産形成の達人ファンド 11月度運用レポート

### 投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

11月度の騰落率は、日経平均株価の+15.0%、東証株価指数(TOPIX)の+11.1%に対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは+10.1%でした。10月末時点の当ファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位5業種)、上位10銘柄は下記の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は19銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	98.6%
現金・その他	1.4%

業種別構成比率(上位5業種(東証33分類))

	東証33業種	比率(%)
1	電気機器	24.99%
2	化学	11.54%
3	情報・通信業	10.01%
4	輸送用機器	8.23%
5	精密機器	8.10%

組入上位10銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
テルモ	精密機器
リクルートホールディングス	サービス業
ダイキン工業	機械
日本電産	電気機器
ソニー	電気機器
キーエンス	電気機器
シマノ	輸送用機器
ユニ・チャーム	化学
ソフトバンクグループ	情報・通信業

スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>

11月度の騰落率は+8.3%でした。10月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位5業種)、上位10銘柄は下記の通りです。また、10月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は34銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	92.2%
現金・その他	7.8%

業種別構成比率(上位5業種(東証33分類))

	東証33業種	比率(%)
1	化学	19.98%
2	ガラス・土石製品	18.69%
3	機械	13.30%
4	サービス業	7.07%
5	電気機器	5.36%

組入上位10銘柄(マザーファンドの組入れ状況)※銘柄コード順

銘柄名	業種
シップヘルスケアホールディングス	卸売業
クミアイ化学工業	化学
TOTO	ガラス・土石製品
MARUWA	ガラス・土石製品
三浦工業	機械
ベイカレント・コンサルティング	サービス業
全国保証	その他金融業
日本エム・ディ・エム	精密機器
ニチハ	ガラス・土石製品
エフピコ	化学

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)

11 月度の騰落率は、日経平均株価の+15.0%、東証株価指数 (TOPIX) の+11.1% に対しコムジェスト日本株式ファンドは+16.0%でした。11 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、11 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 37 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

### マザーファンドの状況

#### 資産構成比率

国内株式等	98.6%
短期金融資産など	1.4%

#### 組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

	銘柄名	業種	国	比率
1	エムスリー	ヘルスケア	日本	4.5%
2	ダイフク	資本財・サービス	日本	4.2%
3	日本電産	資本財・サービス	日本	3.8%
4	MonotaRO	資本財・サービス	日本	3.7%
5	コーセー	生活必需品	日本	3.7%
6	ファーストリテイリング	一般消費財・サービス	日本	3.6%
7	スズキ	一般消費財・サービス	日本	3.4%
8	シスメックス	ヘルスケア	日本	3.4%
9	ピジョン	生活必需品	日本	3.2%
10	リクルートホールディングス	資本財・サービス	日本	3.2%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド  
(インスティテューショナルシェア・クラス)

11 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+12.0%に対し、米国オポチュニティファンドは+15.2%でした。9 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 10 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、10 月末時点の組入銘柄数は 248 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄と投資比率（四半期ごとに更新/上位 10 銘柄の合計：20.4%）

	銘柄名	業種	組入比率
1	Eli Lilly and Co.	ヘルスケア	3.0%
2	ABIOMED Inc.	ヘルスケア	2.9%
3	Tesla Inc.	一般消費財・サービス	2.6%
4	Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.3%
5	Alphabet Inc.	コミュニケーション・サービス	1.8%
6	Alibaba Group Holding Ltd.	一般消費財・サービス	1.7%
7	BioMarin Pharmaceutical Inc.	ヘルスケア	1.6%
8	BeiGene Ltd.	ヘルスケア	1.5%
9	Charles Schwab Corp.	金融	1.5%
10	Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	1.5%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

	業種	組入比率
1	ヘルスケア	32.6%
2	情報技術	22.8%
3	資本財・サービス	15.6%
4	一般消費財・サービス	11.4%
5	金融	9.1%
6	コミュニケーション・サービス	5.6%
7	エネルギー	0.7%
8	素材	0.5%
9	生活必需品	0.5%
10	不動産	0.1%
11	公益事業	0.0%

アライアンス・バーンスタイン SICAV- コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ（クラス I）

11 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+10.8%、ラッセル 1000 グロース指数の+10.1%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは+11.4%でした。10 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄（株式への投資に対する割合/上位 10 銘柄の合計：62.69%）

	銘柄名	業種	組入比率
1	Microsoft	情報技術	8.99%
2	IQVIA	ヘルスケア	8.25%
3	Mastercard	情報技術	7.92%
4	Abbott Laboratories	ヘルスケア	7.77%
5	Nike	一般消費財・サービス	5.44%
6	Charles Schwab	金融	5.03%
7	Amphenol	情報技術	4.96%
8	Zoetis	ヘルスケア	4.89%
9	Aptiv	一般消費財・サービス	4.78%
10	Stericycle	資本財・サービス	4.66%

業種別投資比率（株式への投資に対する割合）

	業種	組入比率
1	情報技術	30.44%
2	ヘルスケア	20.91%
3	一般消費財・サービス	17.05%
4	資本財・サービス	11.36%
5	コミュニケーション・サービス	9.01%
6	金融	5.03%
7	素材	3.53%
8	不動産	1.69%
9	生活必需品	0.00%
10	エネルギー	0.00%
11	公益事業	0.00%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト (Iクラス)

11 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+10.8%に対し、BBH・コア・セレクトは+9.9%でした。10 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 32 銘柄となっています。

### 資産構成比率

外国株式等	99.7%
現金等	0.3%

組入上位 10 銘柄（上位 10 銘柄の合計：45.8%）

	銘柄名	業種	組入比率
1	Alphabet Inc	コミュニケーション・サービス	7.1%
2	Berkshire Hathaway Inc	金融	5.7%
3	Zoetis Inc	ヘルスケア	4.9%
4	Copart Inc	資本財・サービス	4.6%
5	Arthur J Gallagher & Co	金融	4.1%
6	Mastercard Inc	情報技術	4.1%
7	Linde PLC	素材	4.0%
8	Oracle Corp	情報技術	3.9%
9	Amazon.com Inc	一般消費財・サービス	3.8%
10	Alcon Inc	ヘルスケア	3.6%

### 業種別投資比率

	業種	組入比率
1	ヘルスケア	17.7%
2	情報技術	15.0%
3	生活必需品	12.9%
4	資本財・サービス	12.9%
5	金融	12.6%
6	一般消費財・サービス	12.1%
7	コミュニケーション・サービス	9.5%
8	素材	7.4%
9	エネルギー	0.0%
10	不動産	0.0%
11	公益事業	0.0%

FSSA アジア・フォーカス・ファンド (クラスIII)

11 月度の騰落率（ドルベース）は MSCI アジア太平洋（日本を除く）インデックスの+9.0%に対し、FSSA アジア・フォーカス・ファンドは+9.2%でした。10 月末時点の組入上位 10 銘柄、および国別・業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 54 銘柄となっています。

### 資産構成比率

外国株式等	93.2%
現金・その他	6.8%

組入上位 10 銘柄

	銘柄名	業種	国	組入比率
1	HDFC Bank	金融	インド	4.8%
2	Samsung Electronics Co Ltd Pfd NV	情報技術	韓国	4.3%
3	Bharti Airtel Limited	コミュニケーション・サービス	インド	4.1%
4	Taiwan Semiconductor (TSMC)	情報技術	台湾	3.7%
5	Tencent Holdings Ltd.	コミュニケーション・サービス	中国	3.6%
6	ICICI Bank	金融	インド	3.6%
7	Colgate-Palmolive (India) Limited	生活必需品	インド	3.4%
8	PT Astra International Tbk	一般消費財・サービス	インドネシア	3.2%
9	Ambuja Cements Limited	素材	インド	3.0%
10	CSL	ヘルスケア	オーストラリア	3.0%

### 国別投資比率と業種別投資比率

	国名	比率(%)	MSCI業種	比率(%)
1	インド	30.9%	1 生活必需品	22.4%
2	中国	14.0%	2 金融	17.7%
3	台湾	7.2%	3 情報技術	15.3%
4	日本	7.1%	4 一般消費財・サービス	10.0%
5	オーストラリア	6.6%	5 コミュニケーション・サービス	9.0%
6	韓国	6.3%	6 ヘルスケア	7.5%
7	インドネシア	5.2%	7 素材	7.0%
8	香港	5.0%	8 資本財・サービス	3.0%
9	シンガポール	4.2%	9 不動産	1.3%
10	その他	6.8%	10 エネルギー	0.0%
			11 公益事業	0.0%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

### コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定)

11 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス (円建て換算) \* の+17.3% に対し、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 は+12.2%でした。11 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、11 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 42 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

#### マザーファンドの状況

##### 資産構成比率

外国株式等	97.3%
短期金融資産など	2.7%

##### 組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

	銘柄名	業種	国	比率
1	ロシュ・ホールディング	ヘルスケア	スイス	5.9%
2	ASMLホールディング	情報技術	オランダ	5.7%
3	インディテックス	一般消費財・サービス	スペイン	4.2%
4	ノボ・ノルディスク	ヘルスケア	デンマーク	4.1%
5	アマデウスITグループ	情報技術	スペイン	4.1%
6	ハイネケン	生活必需品	オランダ	3.7%
7	LVMHモエ ヘネシー・ルイヴィトン	一般消費財・サービス	フランス	3.3%
8	エシロールルックスオティカ	一般消費財・サービス	フランス	3.3%
9	MTUエアロ・エンジnz	資本財・サービス	ドイツ	3.0%
10	SAP	情報技術	ドイツ	2.7%

\*MSCI ヨーロッパ・インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス (ユーロ建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

### コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定)

11 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円建て換算) \* の+9.1%に対し、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 は+9.2%でした。11 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、11 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 36 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

#### マザーファンドの状況

##### 資産構成比率

外国株式等	98.6%
短期金融資産など	1.4%

##### 組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

	銘柄名	業種	国	比率
1	台湾セミコンダクター (TSMC)	情報技術	台湾	6.3%
2	サムスン電子	情報技術	韓国	6.2%
3	ピンアン・インシュアランス (中国平安保険)	金融	中国	5.3%
4	アリババ・グループ (阿里巴巴集団)	一般消費財・サービス	中国	5.0%
5	ナスパズ	一般消費財・サービス	南アフリカ	4.8%
6	ネットイース (網易)	コミュニケーションサービス	中国	4.5%
7	HDFC	金融	インド	4.5%
8	シャンハイキシャ (上海汽車集団)	一般消費財・サービス	中国	4.0%
9	NCソフト	コミュニケーションサービス	韓国	3.8%
10	コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	情報技術	アメリカ	3.7%

\*MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円建て) の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目録見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

### ■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資  
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資  
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル  
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

### ■投資対象ファンドの選定条件

- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。
- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

### ■現在の組入れ対象ファンドについて

#### ①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

#### ②コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

#### ③コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。

#### ④スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

#### ⑤スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

#### ⑥アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ(\*本レポートでは「米国株式集中投資ファンド」と記載する場合があります)

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

#### ⑦スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

#### ⑧コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

#### ⑨BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト

主要投資対象：主に米国株式市場に上場された中・大型株式に投資します。

運用方針：BBH が定めた 6 つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約 25~30 銘柄のみを選択して集中投資を行います。

#### ⑩FSSA アジア・フォーカス・ファンド

主要投資対象：主にアジア太平洋地域で設立された、および、当該地域で主たる事業を営む上場企業で、十分な市場流動性を有する大型・中型の銘柄に投資します。

運用方針：十分に分散されたポートフォリオを構築し、クオリティーの高いと判断する銘柄への選別投資を通じて、長期的な受託資産の保全と成長を目指します。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

### ■お申込みメモ

- 購入単位：販売会社が定める単位とします。
  - 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
  - 換金単位：1口単位 ※販売会社により1円単位でのお申込みとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
  - 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
  - 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
  - 購入・換金申込日：原則として、毎営業日に申込みを受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
  - 申込締切時間：原則として、午後3時までに受付けた申込み（当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したもの）を当日の申込みとします。
  - 信託期間：無期限（設定日：2007年3月15日）
  - 繰上償還：以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還することがあります。
    - ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。
    - ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき。
 このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録の取消・解散・業務廃止のときは、原則としてファンドを償還させます。
  - 決算日：毎年12月10日（休業日の場合は翌営業日）
  - 収益分配：毎決算時（毎年12月10日の年1回。休業日の場合はその翌営業日。）に収益分配方針に基づき分配を行います。
    - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
    - ・当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、所得税、復興特別所得税および地方税を控除した後、再投資されます。
  - 課税関係：課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、「NISA」（少額投資非課税制度）および「ジュニア NISA」（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。当ファンドは「つみたて NISA」（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）の適用対象です。
- ※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

### ■当ファンドに係るリスクについて

#### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。（「為替変動リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

#### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 11 月度運用レポート

### ■当ファンドに係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じた額が控除されます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に年 0.583%（税抜 0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2%程度（税込）となります。
- ※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。
- その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

本文中のデータは、Bloomberg から取得しています。

委託会社：セゾン投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 349 号  
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会  
 お客さま窓口：03-3988-8668  
 営業時間 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）  
<https://www.saison-am.co.jp/>

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。